

Santen Work Style

グローバルガイドライン



Santen Pharmaceutical Co., Ltd.

Message from CHRO

はじめに

私たちは、Santen Commercial Excellence (SCE) を通じて、患者さんおよび眼科医療コミュニティから信頼されるグローバルリーダーとなることを目指しています。SCEは、眼科領域における専門性と製品価値最大化を統合し、確かな事業成果につなげる当社の中核的な能力です。SCEを事業運営の中心に据えることで、私たちは眼科医療を変革する革新的で患者中心の製品を提供し、長期的な目標を実現していきます。

SCEを組織能力としてさらに強化するため、私たちは柔軟なハイブリッドワークと部門横断のコラボレーションを、私たちの働き方を支える重要な推進要素として最適化しています。柔軟なハイブリッドワークは、地域、部門、そして個々人の視点を越えて、知識・経験・価値観を結びつけ、組織全体に存在する多様な考え方を最大限に活かすことを可能にします。

従来の枠組みを超えて人と人をつなぐことで、より深い洞察、より良い意思決定、そして共通の目標に向けた強い一体感を生み出します。柔軟性とコラボレーションを高めることで、私たちはイノベーションを促進し、生産性を向上させ、信頼・責任・継続的な成長に根ざしたカルチャーを強化していきます。この環境は、各社員が自身の役割と成果に主体的に向き合いながら、会社全体の戦略的方向性と整合して行動することを可能にします。

最終的に、MTP2029の達成、そして2035年に向けた長期ビジョンの実現は、個々人のオーナーシップと、組織としての協働の積み重ねによって成し遂げられます。これらのガイドラインは、柔軟なハイブリッドワークと部門や地域を越えた協働を支援し、組織の進化と、私たちが支える患者さんのニーズに応じて進化し続けるSCEをさらに強化していきます。ともに歩み、ともに挑戦し、ともに成長することで、眼科医療の発展を推進し、世界中の患者さんに価値を届けていきましょう。



フレキシブル・ハイブリッドワークの最適化

Optimizing Flexible Hybrid Work

私たちは、共通の目的とつながり続けながら、社員一人ひとりと組織全体が最大限のパフォーマンスを発揮できる働き方として、フレキシブル・ハイブリッドワークを推進しています。業務の特性やチームの目標に応じて、オフィスワークとリモートワークを適切に組み合わせることで、集中、コラボレーション、そしてウェルビーイングを支える環境を整えています。

この柔軟な働き方によって、地域や部門を越えた多様な視点や経験、専門性を活かすことができ、より良いチームワークと、価値のあるイノベーションにつながっていきます。また、互いを信頼し、責任を持ち、誰もが尊重されるカルチャーを育むことで、社員一人ひとりが前向きに関わり合いながら、私たちのビジョンの実現に貢献できる環境を目指します。

1. 目的をもってオフィスに集まる

対面の時間を、意義のあるコラボレーション、より強い関係性の構築、そして仕事を前進させる対話のために活用し、一つひとつの対面の機会を最大限に価値あるものにします。

2. リモートワークで集中とウェルビーイングを実現する

リモートワークを活用し、深い集中、個人の生産性、そしてワークライフバランスを確保することで、心身の健康を大切にしながら、最高のパフォーマンスを発揮できる状態を支援します。

3. デジタルツールを活用し、つながりと生産性を高める

デジタルツールを活用して、シームレスなコラボレーションや知識共有、方向性の共有を行い、どこで働いていても、生産的で、つながりのある、インパクトのある働き方を実現します。



リモートワーク活用による業務への集中とウェルビーイングの両立

リモートワーク活用による業務への集中とウェルビーイングの両立

Use Remote Work to Enable Focus and Well-being

リモートワークは、高いパフォーマンスと一人ひとりのウェルビーイングの両立を実現するための、最適な環境づくりを後押しします。

働く場所や働き方に柔軟性があることで、より深い集中力を保ち、安定した生産性を発揮しながら、時間をより意識的に使うことができます。

また、心身の健康を大切にすることで、私たちのパフォーマンスはさらに高まるという考え方のもと、持続可能でバランスの取れた働き方を支えます。

業務への集中により生産性を高める

リモートワークは、課題解決、戦略検討、学習、イノベーションといった付加価値の高い仕事にじっくり向き合うための時間と空間を生み出します。これにより、社員一人ひとりが質の高い成果を生み出し、重要なテーマへの取り組みを加速させ、チームや組織の目標達成により効果的に貢献することができます。

また、自身の集中力やエネルギーが高まる時間帯に合わせて仕事のリズムを設計することができ、オーナーシップと責任感を持ちながら、ベストなパフォーマンスを発揮することにつながります。

持続的なパフォーマンスを支えるウェルビーイング

この働き方は、心・体・生活全体を含めたウェルビーイングを大切にすることにもつながります。仕事とプライベートを無理なく調和させることで、より前向きに、しなやかに、そして意欲的に働くことができます。

リモートワークをはじめとした様々な環境で働くにあたり、働き甲斐を社員の皆さんが感じながら、必要な情報を得られるようにすることはとても重要だと考えます。

そこで、Santenは経済面、身体面、社会面、そして精神面といったあらゆる側面で皆さんをサポートしていきます。これにより、働く場所や時間によらず、どこでもいつでも心理的に安全で安心な環境で働くことができ、自分の意見を積極的に発信したり、Santenの行動原則と価値観に沿って行動することが可能となるでしょう。

リアル・バーチャルに関わらず、社員の皆さんが健康に働く環境をSantenは推奨します。私たちは、以下のような多面的なウェルビーイングを大切に考えます。

- メンタル面のウェルビーイング：振り返りや内省の時間を持ち、心の安定やバランスを保つこと
- フィジカル面のウェルビーイング：日々の生活の中で、適切な休息や運動、健康的な習慣を意識すること
- ソーシャル面のウェルビーイング：同僚やチーム、そして大切な人たちとのつながりを大切にすること
- パーソナル面のウェルビーイング：自分自身の価値観や目的意識と仕事を結びつけ、充実感を持って働くこと
- ファイナンシャル面のウェルビーイング：安定した生活基盤を整え、不要な不安やストレスを減らすこと

集中できる環境とウェルビーイングの両方を大切にすることで、リモートワークは個人のパフォーマンスだけでなく、組織全体としての協働力やイノベーション創出力を高め、患者さんやステークホルダーに価値を届ける力を強化します。



デジタルツールを活用し繋がりを保ち効果的に働く

デジタルツールを活用し繋がりを保ち効果的に働く

Leverage Digital Tools to Stay Connected and Effective

デジタル化によって有意義な協働体制を構築し、あなた自身の働き方をサポートします。

デジタル化は働き方を進化させ、高い成果を生み出すための最適な環境と、個人のウェルビーイングの両立を可能にします。働く場所や時間に柔軟性を持つことで、より深い集中力を保ち、安定した生産性を発揮しながら、時間をより意識的に使うことができます。こうした取り組みは、心身の健康を大切にしながら、持続可能でバランスの取れた働き方を支えるものです。

柔軟な働き方の例:

- 夜の電話会議（深夜対応）の翌朝は、遅めに入社／業務開始する（インターバル確保）
- 朝に1時間だけ通院してから入社する（1時間単位の年休・時間休の活用）
- 勤務中に体調不良が出たら、一時的に休憩（中断）して回復してから再開
- 夕方は少し早めに退社して、育児（お迎え等）に充てる

デジタル&インフォメーション・テクノロジー部門（DIT）は、営業、コーポレート、研究、製造といった職種ごとの特性に応じた多様な働き方をより良いものにするため、それぞれの課題や改善の機会に向き合っています。場所や時間にとらわれることなく、生産性と仕事の質を高めるとともに、オープンなコミュニケーションを通じて社員の意欲を引き出し、AIや機械学習といった新しいテクノロジーを活用した働き方を取り入れることで、イノベーションの余地を広げていくことを目指しています。DITは、明確なデジタル戦略の策定を支援すると同時に、デジタル化に向けたスキルやマインドセットの向上をサポートします。このパートナーシップを通じて、より効率的で効果的に働くことを可能にする、関連性の高い革新的なソリューションを提供していきます。

デジタル化によって実現する私たちの仕事

社員一人ひとりのデジタルリテラシーを高めることで、データを通じて顧客への理解をより深め、客観的で、迅速かつ正確な意思決定が可能になります。

AIを含む進化し続けるデジタル技術を活用しながら、業務の質を高め、ビジネスプロセスを変革することで、生産性や効率を大きく向上させるとともに、創造性を育んでいきます。

デジタルイノベーションは、データに基づいた洞察をもとに、より速く、より確かな判断を行う力を私たちにもたらします。それにより、顧客を深く理解したうえで、最善の選択を行い、価値ある成果につなげていくことができます。



FAQs

Q1 Santenのグローバルガイドラインや新しい働き方のコンセプトは理解していますが、自分のケースに置き換えるといまいちピンときません。日々の仕事においてどのような影響があるのでしょうか？

A1_ 本グローバルガイドラインは、Santenが社員の働き方をどのように理解し、形作っていくかについての方向性を示す枠組みです。地域およびローカルで既に確立されている働き方に関する方針、および現地の労働法や適用される法律の遵守は、本グローバルガイドラインに基づく改訂が正式に発表されるまで変わりません。このグローバルガイドラインに関連した、地域やローカルの働き方に関するポリシーやその他の文書の詳細な変更や調整については、あなたの上司が地域や各リージョンのHRと共に今後お知らせします。

Q2 このグローバルガイドラインに基づいて、自分の働き方をどのように調整すればいいのか、具体的にいつから現在の働く場所・時間を変えていくことができるのでしょうか。

A2_ これは、あなたが雇用されている国によって異なります。地域またはローカルのワークスタイル・ポリシーの変更は、ある国ではすぐに実施されるかもしれませんが、他の国では、従業員評議会、労働組合、または協議を必要とするその他の団体との話し合いや、適用されるすべての法律のために、より多くの準備が必要となるかもしれません。このプロセスについては、上司や地域・リージョンの人事から追って連絡が入ります。

Q3 もし、このグローバルガイドラインの内容に、リージョンの従業員評議会、労働組合や経営陣の一部が同意しなかったり、地域の就業規則がこのような柔軟な対応を認めていない場合はどうなるのでしょうか？

A3_ 話し合いの結果、ほとんどのものが実施可能であり、時間の経過とともに皆さんも適用されるものと期待している一方で、上記のコンセプトと完全に一致しない地域的な事情がある可能性もあります。

Q4 今回のガイドライン改訂の意図は何か？将来的にフル出社の体制に会社は戻すということか？

A4_ グローバルとしてのワークスタイル、及びその一環としての柔軟性は継続しつつ、従業員同士のコミュニケーション上の課題点を解決するために今回のガイドラインの改訂によって、目的を持った出社を推奨しています。日常業務の効率性の観点と、対面コミュニケーションがもたらしうる中長期的な組織としての成長、イノベーションとのバランスを取りつつ、このガイドラインの浸透が全社をより良くしていくために必要なものと考えています。

Q5 私は、雇用されている国とは異なる国から完全にリモートで仕事をしたいと考えています。そのようなことは可能ですか？

A5_ 国境を越えたりリモートワークは、給与、税金、法的に様々な影響があり、慎重に見極める必要があるため、現時点ではこのグローバルガイドラインの対象外としています。

Legal Disclaimer

本グローバルガイドラインは世界中の社員にとって Santenが働き方をどのように理解し形作るのがを示す枠組みとして提示したものです。

従って、各国・地域で運用されている既存の働き方に関する人事諸規則、ならびに現地の労働法および適用される法律については、本グローバルガイドラインに即した社内規定が改訂されるまでは、現在の運用規則が適用されます。

各地域・国の人事部門は、法的且つ戦略的に可能な範囲で、本グローバルガイドラインに沿って各国 / 地域の人事諸規則を順を追って改訂していく予定です。社員の皆さんの働き方に関する体制へ直接影響がある場合や、労働組合や従業員評議会と協議すべき事項が存在する場合は、社員の働き方に対して直接的な影響が出る前に、然るべきタイミングで丁寧にコミュニケーションをしていきます。